

東京ミッドタウン日比谷の最新情報をお知らせ！

# TOKYO MIDTOWN HIBIYA NEWS LETTER

#東京ミッドタウン日比谷 #tokyomidtownhibiya

vol.03 エンタメ編

配信日：2018年1月12日

日比谷を舞台に三井不動産が手がける一大プロジェクト「東京ミッドタウン日比谷」。B1F~7Fフロアの商業空間には、シネマコンプレックスに加え、個性あふれる60店舗が集まりました。飲食店編、物販店編につづき、今回のエンタメ編と3回にわたり、注目のお店などをご紹介します！

## 東京ミッドタウン日比谷 2018年3月29日オープン！

- 店舗数：60店舗  
(日本初出店5店舗、商業施設初出店14店舗、新業態22店舗)
- 住所：東京都千代田区有楽町1-1-2
- アクセス：「日比谷」駅(東京メトロ日比谷線、千代田線、都営地下鉄三田線)直結、JR山手線、京浜東北線「有楽町」駅から徒歩5分、東京メトロ有楽町線「有楽町」駅直結(徒歩4分)、「銀座」駅(東京メトロ丸の内線、日比谷線、銀座線)直結(徒歩5分)



いよいよ、東京ミッドタウン日比谷が今年オープン！  
そもそも、日比谷はどんな街？



東京ミッドタウン日比谷と街をつなぐ玄関口「日比谷ステップ広場」

## エンタメ文化の発信地である、 日比谷の街の魅力

日比谷は、有楽町、銀座、虎ノ門、霞が関、丸の内エリアに近く、複数の路線を活用できる、利便性のよい街です。

皇居や日比谷公園があることから、緑豊かな街の印象が強くもありますが、官公庁や大企業の本社もある日本屈指のビジネス街であり、エンターテインメント文化の発信地でもあります。江戸時代、まだ入江であったこの地を埋め立て、多くの大名屋敷が軒を連ねていた歴史、そして明治の文明開化の中心となり、鹿鳴館や日本初の西洋式ホテルとしての帝国ホテルなど、新しい建築様式の建物を誕生させたのも日比谷です。さらには、芸術文化が堪能できる劇場やシアターも昭和初期に誕生。今でも、日生劇場、東京宝塚劇場、シアタークリエなどの劇場と、TOHOシネマズといった映画館が集約されている魅力的な街なのです。



### 帝国劇場

日本初の西洋式演劇劇場として1911年3月1日に開館。最上階には美術館もあり、アートも一緒に楽しめる。現在の複合ビル形式の建物は1966年9月29日に完成。



### 東京宝塚劇場

宝塚劇団の東京の本拠地として1934年1月1日に誕生。2001年1月1日にリニューアルオープン。千秋楽には白い洋服のファンが花道を作る。



### 日生劇場

1963年10月20日、日本生命保険相互会社が創業70周年を記念して、劇場を誕生させた。劇場内の壁、天井の曲面とモザイクは必見。



### 日比谷野外音楽堂

小音楽堂は1905年に作られた日本最古の野外音楽堂である。小音楽堂の催事はすべて無料である。1923年に大音楽堂が完成した。

## 日比谷エリアにあるエンタメ施設



### 日比谷公会堂

1929年に開館した日比谷公園内にある多目的ホール。関東大震災復興のシンボルとして建設された。老朽化のため、2016年より修繕のため休館中。



### シアタークリエ

芸術座の閉館を受け、2007年にオープンした18階建ての「東宝シアタークリエビル」の1階と地下1・2階部分。地下2階は「日比谷シャンテ」とつながっている。



### TOHOシネマズ スカラ座・みゆき座

1955年に「日比谷スカラ座」1957年に「みゆき座」がオープン。2009年「TOHOシネマズスカラ座・みゆき座」となる。2018年2月より改修が始まり、2018年3月29日「TOHOシネマズ 日比谷」に統合。



### TOHOシネマズ シャンテ

日比谷映画劇場の跡地に「シャンテシネ」として1987年に開業。2009年2月より現名称に。TOHOシネマズの中では数少ないミニシアター。



# 東京ミッドタウン日比谷にも！ エンターテインメントを通じて文化発信！

TOPICS 01

## スクリーン毎に適したスピーカーが配置された、ワンランク上の エンターテインメント体験を「TOHOシネマズ 日比谷」で！

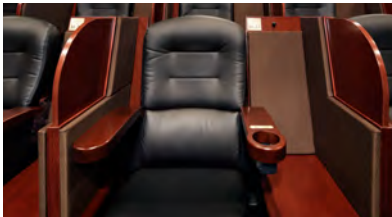
#都心最大級 #11スクリーン約2200席 #プレミアムシアターのこだわり #HIBIYA・ブロードウェイ

有楽町・日比谷エリアに初のシネコンとして誕生する“映画の宮殿 THE MOVIE PALACE”「TOHOシネマズ 日比谷」。

「東京ミッドタウン日比谷内の約2200席に加え、同エリア内のTOHOシネマズ ショッピングセンター等を含め、合計16スクリーン、約3400席のエンターテインメントエリアが誕生いたします。東京宝塚劇場、シアタークリエなどの演劇エリアと一体になって、日本が世界に誇れる映画・演劇の街、“HIBIYA・ブロードウェイ”を目指していきます」と、TOHOシネマズ担当者。

コンサートホールのような環境を目指したという“プレミアムシアター”には映画を鑑賞する上で大切な要素である「スクリーン」、「音」、「椅子」それぞれに「プレミアムラージフォーマット」、「プレミアムサウンド」、「プレミアムシート」とプレミアムな3大要素を組み込んでいるとのこと。それぞれの解説は右下に！

2018年春、日比谷の街にまた一つ上質な映画鑑賞空間が誕生することに期待が膨らみます。



日比谷の最大座席数を擁する1番スクリーンは、唯一無二のプレミアムシアター



### プレミアムラージフォーマット“TCX”

壁一面に広がった独自規格によるラージスクリーン「TCX®」を今回は同規模の座席数のスクリーンよりも画面サイズを約120%拡大。

### プレミアムサウンド

劇場に合わせて一からデザインされたカスタムスピーカーを商業映画館では日本初のカスタムスピーカーシステムとして導入。

### プレミアムシート

革製のリクライニングシートであるプレミアラグジュアリーシートと、重厚な木目調のボックスで仕切られたセミプライベートな空間のプレミアボックスシートで映画の世界に。



## 日比谷と映画が紡ぐ文化

写真は1934年に開館した「日比谷映画劇場」。当時、日比谷には東宝直営の大劇場が立ち並び、いわば街そのものが市民のためのアミューズメント・センター。“日比谷映画街”として親しまれていました。

現在の日比谷シャンテがある場所には、大劇場の「有楽座」、そして日比谷映画街の入口にあった劇場が「日比谷映画劇場」。この2館では、ハリウッド大作から日本映画の名作まで数々の映画をファンに届けていました。それとは対照的に、日本映画専門館として人気を博していたのは、「千代田劇場」でした。1984年10月、日比谷の再開発によって、「有楽座」「日比谷映画劇場」が閉館されたものの「千代田劇場」は「日比谷映画」と日比谷の名を残し映画を上映し続け、2005年に閉館した芸術座とともに2007年に「シアタークリエ」へと姿を変えました。明治の文明開化の中心地であった日比谷。文化芸術とともに歩み続けるこの街は、これからの時代も、より一層映画文化を盛り上げていく「TOHOシネマズ 日比谷」は中心地として賑わいを見せることでしょう。



## 「billboard cafe &amp; dining」で、

音楽の可能性を最大限に堪能！

#コラボレーションカフェ #BGMが選べる個室 #開放的なテラス席

3F



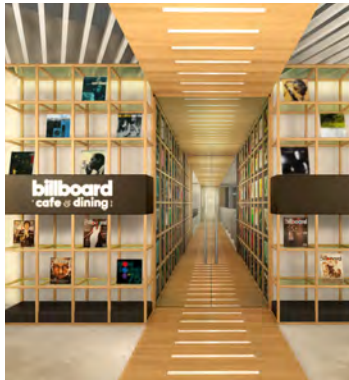
音楽と心地良い時間にこだわる。

コンセプトは、~My tune, My time~ produced by Billboard Live

「billboard cafe & dining(ビルボードカフェ&ダイニング)」は、「ビルボードライブ」を運営してきた株式会社阪神コンテンツリンクが10年間で培ったノウハウを活かした、カフェの新業態として出店します。

同社は、1990年にライブ事業に参入、2006年には、アメリカで最も歴史と権威のあるメディア・ブランドである「Billboard」と提携し、国内マスター・ライセンスとして、2007年に東京・六本木と大阪・西梅田にライブ&レストラン、「ビルボードライブ」を開業。今回は音にこだわる視点から、音響メーカー各社推奨のオーディオを備えた個室、アナログやデジタル音源といった多様なフォーマットのオリジナル・プレイリストに対応するサウンド・システムの導入に加え、「ビルボードライブ」に出演したアーティストのフェイバリット・メニュー、ネット配信可能なアコースティック・ライブやトーク・イベントを開催するなど、音楽と食のコラボレーションが実現するエンターテインメントなカフェとなります。

『東京ミッドタウン日比谷』には、芸術や文化に感性の高いお客様、ご自身の時間を大切にされるお客様がいらっしゃると考えています。そのお客様にふさわしい、豊かな時間を過ごすことができるサービスを多数ご用意したこちらのカフェで、お選びいただいた様々なスタイルで音楽や食事をお楽しみ頂くことが、私共の無上の喜びです。皆様のご来店をスタッフ一同、心よりお待ちしております」と店長の田邊幸子さん。



## 「イセタンミラーメイク&amp;コスメティクス」

の新提案は、美をプロデュースするエンターテインメントSHOP

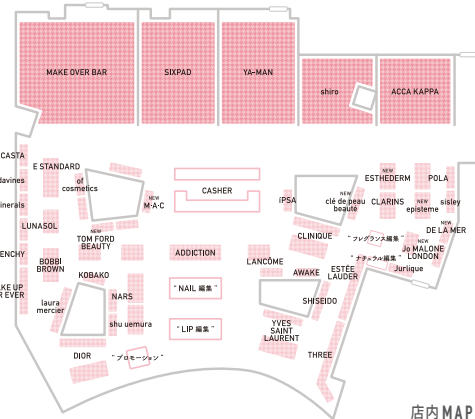
#ラグジュアリーコスメのセレクトショップ #約40ブランド #NY発ブローパー

1F

欲しいときに・好きなように・  
欲しいものだけを買える  
ラグジュアリーコスメショップ



MAKE OVER BAR



「日比谷店の特徴は、過去最大規模のブランド数と、初の試みのショッピングにあります。イセタンミラーは、もともとカラーメイクに強いブランドの品揃えが中心になっていることが多かったのですが、今回通常店舗の約2倍のブランド数を取り揃え、スキンケアに特化したブランドも多数ご紹介できるようになりました。ショッピングでは、これまでは取り扱いが困難だった美容器具や美容サービスを提供できるようになり、今まで以上にお客様のご要望にも対応できていると感じています」とイセタンミラー・新業態営業部マネージャーの中村有飛さん。

注目は、ヘアの仕上げをプロの手に気軽にお任せできるとして、今やニューヨーカーのライフスタイルに欠かせない「ブローパー」を体験できる、新感覚のビューティーサロン「MAKE OVER BAR」。ニューヨークのヘアスタイリストのブロー技術をそのまま受け継ぐことができるブローパーブースでは、現地で活躍する超一流スタイリストが技術を監修。これまでに体験したことのないブローに女性は心ときめくこと間違いありません。また、通常のヘアサロンメニューはもちろん、パーカウンターでのネイルサービス、メークアップサービスも展開。この空間で最高の技術とホスピタリティに癒やされます。

「日比谷はや、多くの観劇施設やラグジュアリーホテルなど、“由緒正しき社交の街”という印象が強い。 “ハレの場”の装いの一助になれるようなエンターテインメントあふれるショップになりたいと感じています」



# 日比谷トリビア散歩 MAP

東京ミッドタウン日比谷の周辺は、日本初の洋風近代式公園として明治36年(1903年)に開園した、緑あふれる日比谷公園をはじめ、歴史的な名所・見どころが盛りだくさん。ぜひ、日比谷散歩を楽しんで!

## 長州藩上屋敷跡

吉田松陰も頻りに出入りをした、長州藩の屋敷。慶長8年(1603年)毛利秀就が徳川家康より拝領した地。元治元年(1864年)7月「禁門の変」により幕府に没収された。

## 日比谷 松本楼

明治36年(1903年)創業、当時は「松本楼でカレーを食べてコーヒーを飲む」ことが大流行。昭和46年(1971年)に過激派学生の火炎瓶で焼失し、全国からの励ましで2年後に再オープン。それ以来感謝の気持ちを込めて、毎年9月25日に「10円カレー」を開催。集まった募金はユニセフへ寄付。

## 首かけ銀杏

幹の周囲6.5m、樹齢400年の巨大な銀杏の木。明治時代、道路拡張のために伐採されそうになった時、設計者の本多静六が「自分の首にかけても移植する」と述べたことが名前の由来。近年、パワースポットとしても話題。

## 伊達政宗終焉の地

慶長6年(1601年)伊達政宗は徳川家康より江戸屋敷を与えられた。江戸参勤の折、寛永13年(1636年)5月、70歳の生涯を閉じた。

## 日比谷図書文化館

「日比谷図書館」として明治41年(1908年)に開館。平成23年(2011年)に「日比谷図書文化館」としてオープン。1Fのカフェでは東京をテーマにした書籍や文具を販売、さらに無線LANも完備しコンセントは30口、図書フロアの本も持ち込むことが可能。

## 噴水広場

日比谷公園のメインスポットである。毎日午前8時から午後9時まで稼働しており、主噴水の吹き上げ高さは最大12mで、夜間には照明がつく。28分周期で、24のバージョンを楽しむことができるので、要チェック。

## 鹿鳴館跡

鹿鳴館はレンガ造り2階建ての洋風建築で、明治16年(1883年)に、社交場として政府が建築。明治27年(1894年)華族会館に払い下げられ、昭和2年(1927年)には現在の大和生命保険に売却され、昭和15年(1940年)に解体。

## インペリアルバイキングサール

昭和33年(1958年)に帝国ホテル東京内に開店。日本に「バイキング」という新しい食のスタイルを生み出したレストラン。

## 日比谷大神宮跡

現在の神前結婚の始まりの神宮。関東大震災で焼失。昭和3年(1928年)に飯田橋に移転。現在は、「東京大神宮」となっている。

## 有楽町マリオン

正式名称は、「有楽町センタービルディング」。午前10時～午後10時まで、1時間ごとに音楽を奏でる「からくり時計」が人気。

## 若い時計台

数寄屋橋公園内に、昭和41年(1966年)に岡本太郎によって制作された、全長約8メートルの「若い時計台」。この時計台製作は「青少年の健全育成」が目的だったとされている。時計の文字盤は顔で、胸の部分にはツノのようなものがニョキニョキと生えており、夜になると、顔やツノは様々な色で光ります。

デザイナーサイト公開中! 全60店舗の情報はこちら → <https://www.hibiya.tokyo-midtown.com>